

「地域文化の継承と創造」2016年度の活動報告

所員 橋 本 裕 之
(地域創造学部教授)

本研究が始まった2015年度は、国立民族学博物館が機関研究「文化遺産の人類学——グローバル・システムにおけるコミュニティとマテリアリティ」、追手門学院大学地域文化創造機構が機関研究「文化復興と芸術創造に関する総合的研究」を実施しており、地域文化の継承と創造という共通の課題に取り組む基盤が万全だった。学術交流協定の締結も実現した。

今年度は国立民俗学博物館の機関研究が終了したのみならず、地域文化創造機構も改組に伴い閉鎖されて、北摂総合研究所が設立された。今年度はこうした経緯を念頭に置いた上で、新しい体制において研究をどう展開させるべきかについて討議する一方、従来どおり研究会を開催して学術的な議論を重ねた。実際は以下のとおり、4回の研究会を開催した。

「地域文化の継承と創造」第4回（2016年度第1回）研究会

日時：2016年5月27日（金）13:00～16:00

場所：国立民族学博物館4階第1演習室

演題：「同輩による頼母子講の相互扶助——岐阜県郡上市八幡町の事例から」

演者：足立 重和（追手門学院大学社会学部教授）

「地域文化の継承と創造」第5回（2016年度第2回）研究会

日時：7月11日（月）13:00～17:00

会場：追手門学院大学1号館3階会議室5

演題：「地域文化の見せ方、捉え方ー国立民族学博物館の展示をめぐって」

演者：日高 真吾（国立民族学博物館文化資源研究センター准教授）

「地域文化の継承と創造」第6回（2016年度第3回）研究会

日時：2016年10月7日（金）13:30～15:00

場所：国立民族学博物館4階大演習室

演題：「観光まちづくりの事例研究からみる「文化」概念の再考」

演者：安村 克己（追手門学院大学地域創造学部教授・学部長）

「地域文化の継承と創造」第7回（2016年度第4回）研究会

日時：2017年2月13日（月）15:00～17:00

場所：国立民族学博物館4階大演習室

演題：「武器をアートに——モザンビーク内戦後の平和構築」

演者：吉田 憲司（国立民族学博物館文化資源研究センター教授・副館長）



国立民族学博物館との共同研究会

第5回（2016年度第2回）

2016年7月11日（月）

15:00～17:00

追手門学院大学1号館3階 会議室5

参加費無料 定員50名（申込先着）

演 題：地域文化の見せ方、捉え方

～ 国立民族学博物館の展示をめぐって

演 者：国立民族学博物館 文化資源研究センター准教授

日高 真吾 氏

国立民族学博物館と追手門学院大学は、2015年4月に学術交流協定を締結。

「地域文化の継承と創造」のテーマで、今まで4回の研究会開催しています。

このたび第5回研究会を以下のとおり開催いたします。

学内外からの参加を歓迎いたします。お申込み、お待ちしております。

●申込方法：

メールで件名を「研究会参加」として、本文に「氏名」「ふりがな」「連絡用電話番号」を記入の上、以下に送信。[締め切り：7月8日（金）]

申込・問合せ：北摂総合研究所

shienka@otemon.ac.jp

072-641-9723（研究・社会連携課）

「地域文化の継承と創造」

「地域文化の継承と創造」第5回（2016年度第2回）研究会 ちらし